ＪＡの自己改革に関する組合員アンケート（第１次調査）

JA津安芸 調査結果のご案内

回答者数 **1,561名**

自己改革への評価

- 期待度：約８割が「期待している」
- 満足度：約７割が「満足」
- 改善度：約９割が「改善した」「もともと良い」

総合事業の継続：約９割が「総合事業を継続すべき」

准組合員の事業利用の制限：約９割が「制限しない方がよい」

ＪＡ津安芸 マスコットキャラクター「ミー・ユ」

- 今回の調査結果では、1,561名の組合員からの声をいただきました。
- ＪＡの自己改革について、農業関連事業が「改善した」「もともと良い」との声は約９割。また、約９割の組合員から、「総合事業を継続すべき」との声もいただいています。
- ＪＡ津安芸は、これからも、組合員との対話を大事にし、皆さまの声に基づいて、地域に必要なサービスを提供し、利用いただくことで、農業と地域を支えてまいります。

ＪＡ津安芸では、ＪＡグループが共通目標として掲げる「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実現し、組合員・地域から必要とされる協同組合であり続けることをめざし、「ＪＡ津安芸 自己改革」を実践しています。

ＪＡ津安芸　自己改革

中期３ヵ年計画（平成 30 年度～令和２年度）

重点目標 1

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた地域農業の振興

農業生産基盤が脆弱化していくことが強く懸念される中で、組合員ならびに地域住民の信頼に応え、安心・安全な農畜産物を持続的・安定的に供給できる持続可能な農業の実現をめざして、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を自己改革の基本として取り組みます。

重点目標 2

組合員の変化を踏まえた組織基盤の強化に向けた取り組み

多様化する組合員・地域住民のニーズ把握や事業活動の連携により、地域に根ざした協同組合として、地域貢献活動や行政と連携したくらしの活動を充実・強化し、安心して暮らせる豊かな地域づくりを進めていきます。

重点目標 3

経営健全化に向けた営業力・経営管理の高度化への取り組み

自己改革を支える経営基盤の確立に向けて、事業再構築に取り組みます。さらに、経営の健全性向上と協同活動を支える人材を育成し、自己改革が実践できる態勢をつくります。

現在取り組んでいる自己改革に対する評価をお伺いして、より一層組合員の皆さまの期待に応えられるよう、1,603 名に対して「ＪＡの自己改革に関する組合員アンケート」を実施した結果、1,561 名の組合員からご回答をいただきました。

このたび、組合員の皆さまからいただいた調査結果をご報告させていただきます。

ＪＡの自己改革に関する組合員アンケート（第１次調査）

調査期間	平成 31 年１月 10 日～３月 15 日
調査対象者	1,603 名　（正組合員 796 名、准組合員 807 名） 訪問・対話すべき組合員として、家庭訪問先等で実施
調査方法	個別訪問によるアンケート調査
回答状況	1,561 名 [回答率：97.4%] （正組合員 774 名［97.2%］、准組合員 787 名［97.5%］）

⑪ 自己改革への評価

自己改革の取り組みについての評価は、営農指導事業、農畜産物販売事業、生産資材購買事業ともに、高い評価をいただいています。

（単位：%）

自己改革への評価	期待度 「期待している」	満足度 「満足」	改善度 「改善した」 「もともと良い」
営農指導事業 (農業の栽培技術指導や経営支援など)	83.2 (全国平均 80.6) (試行調査 82.3)	71.8 (全国平均 66.5) (試行調査 64.6)	91.6 (全国平均 83.6) (試行調査 92.6)
農畜産物販売事業 (農畜産物の販売など)	77.6 (全国平均 76.5) (試行調査 79.5)	70.3 (全国平均 61.1) (試行調査 59.7)	87.7 (全国平均 84.2) (試行調査 90.7)
生産資材購買事業 (肥料や農機具等の販売など)	75.5 (全国平均 72.4) (試行調査 75.7)	66.9 (全国平均 60.3) (試行調査 62.8)	91.6 (全国平均 84.0) (試行調査 94.0)

（※）期待度は「期待している」「やや期待している」、満足度は「満足」「やや満足」、改善度は「改善した」「改善しつつある」「もともと良い」を集計しています。

⑫ ＪＡの必要性

正・准組合員の 95.4%が、「ＪＡは地域農業やくらしにとって必要だと感じる」と回答をいただいています。

（単位：%）

ＪＡの必要性	「感じる」
正・准組合員	95.4 (全国平均 93.5) (試行調査 93.1)
(うち正組合員)	96.2
(うち准組合員)	94.5

（※）必要性は「感じる」「どちらかといえば感じる」を集計しています。

全国平均：全国のＪＡ（平成 30 年 12 月～令和元年 5 月末時点）正・准組合員（3,193,640 名 回答）中間集計結果

⑬ 総合事業の継続

正・准組合員の 94.4%が、「総合事業は継続すべき」と回答をいただいています。

（単位：%）

総合事業の継続	「継続すべき」
正・准組合員	**94.4** (全国平均 91.4) (試行調査 90.8)
（うち正組合員）	94.6
（うち准組合員）	94.0

（※）総合事業の継続は「継続すべき」「どちらかといえば継続すべき」を集計しています。

○総合事業の意義

ＪＡは、多様な事業を総合的に展開することで、地域農業の振興や地域づくりに努めています。とりわけ収支が厳しい農業関連事業は、信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、営農指導員の配置や大規模な農業施設投資を実現できています。

⑭ 農業や地域づくりの応援

准組合員の 95.9%が、「ＪＡの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思う」と回答をいただいています。

（単位：%）

農業や地域づくりの応援	「応援したい」
准組合員	**95.9** (全国平均 96.0) (試行調査 92.1)

（※）農業や地域づくりの応援は「応援したい」「どちらかといえば応援したい」を集計しています。

試行調査：当ＪＡ試行調査（平成 30 年 2 月～ 3 月）正・准組合員（1,159 名 回答）集計結果

⑤ 准組合員の事業利用の制限

正・准組合員の 93.2％が、「准組合員のＪＡ事業の利用は制限しない方がよい」と回答をいただいています。

（単位：％）

准組合員の事業利用の制限	「制限しない方がよい」
正・准組合員	**93.2** （全国平均 88.9） （試行調査 89.1）
（うち正組合員）	90.4
（うち准組合員）	95.8

（※）准組合員の事業利用の制限は「制限しない方がよい」を集計しています。

また、正組合員の 96.4％が、「准組合員のＪＡ事業利用は、正組合員にとっても必要」、正組合員の 97.7％が、「准組合員のＪＡ事業利用が、正組合員が利用する事業改善や拡大を阻害していない」と回答をいただいています。

（単位：％）

准組合員のＪＡ事業利用	「正組合員にとっても必要」	「正組合員が利用する事業改善や拡大を阻害していない」
正組合員	**96.4** （試行調査 90.2）	**97.7** （試行調査 95.8）

（※）准組合員のＪＡ事業利用の必要性は「必要」「どちらかといえば必要」、正組合員が利用する事業改善や拡大の阻害は「阻害していない」「どちらかといえば阻害していない」を集計しています。

○准組合員制度の意義

准組合員は、ＪＡの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べること等を通じて、正組合員とともに、地域の農業とくらしを支える存在です。准組合員の事業利用によりＪＡの経営が安定し、農業関連事業の実施や地域に必要な生活サービスの維持が可能になるなど、正組合員にとってメリットがあります。

ＪＡ津安芸は自己改革を着実に実践します！

今回の「ＪＡの自己改革に関する組合員アンケート」調査結果では、95％の組合員に「地域農業やくらしにＪＡが必要」との回答をいただきました。

また、「ＪＡ津安芸 自己改革」「総合事業の継続」「准組合員の事業の利用制限」に関しても肯定的な回答により一定の評価をいただきました。

この調査結果や組合員の皆さまからのご意見・ご要望等をＪＡ事業や組織運営に反映し、「組合員・地域にとってなくてはならないＪＡ」をめざして、「ＪＡ津安芸 自己改革」の実践に継続して取り組んでまいります。

津安芸農業協同組合

〒 514-0057 津市一色町 211

TEL 059-225-1881　FAX 059-223-0912

URL http://www.ja-tsuage.or.jp/

未来へ夢…発信

JA津安芸